

群マネの実施方針(秋田県大館市)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「人手不足＋老朽インフラ増大＋多様化する業務への対応と解消」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路	①	巡回 補修 清掃 除草 剪定 防除 雑木伐採			①	舗装・側溝
河川		巡回 雑木伐採				
公園		除草・剪定 防除				
農林道	②	補修 除草				
法定外		補修				
下水路	③	浚渫				

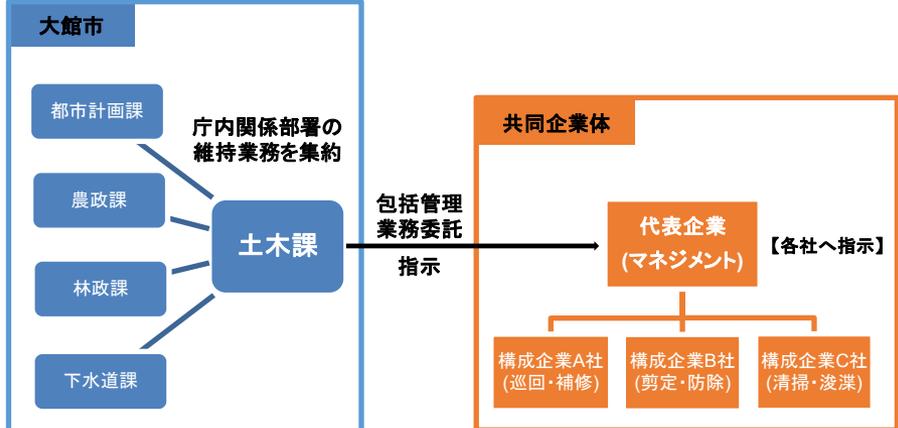
- ① R6年度～大館南地域(市単独)
- ② R7年度～大館西地域より追加(市単独)
- ③ R8年度～大館東地域より追加(市単独)

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 (有) (3年) ・ 無
- 性能規定の導入 (有) (すべての業務) ・ 無

(2) 自治体の束

多分野連携(庁内関係部署間の連携)



- 地方自治法上の共同処理制度の適用: 有(無(広域下水道処理場))
- 連携協力道路制度の活用: 有(無)

(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

- ⇒ 月例工程会議で、工法提案や意見交換を重ね、対策の最適化へ注力
- ⇒ JVを構成する企業の強みを最大限引出し、人手不足時は構成企業が支援

② データ連携の具体メニュー

- ⇒ 関係者がスケジュール管理ソフトを共用し、工程管理と受発注者間の連携を強化
- ⇒ 道路巡回へDXシステムを導入し、路面状態の可視化と情報共有化